

令和7年3月24日現在

令和7年度 全体の計画 クラス別の年間目標														
0歳児及び保育 (健康が優先に据わって 保育する方針)	資質・能力の3本の柱	(乳児) かかわりの3つ の視点	指針のねらい (心情・意欲・知識)	ちっち組 年間目標	01-0200 0歳児	指針のねらい (心情・意欲・知識)	ぐんぐん組 年間目標	にこにこ組 年間目標	03-0400 0歳児	指針のねらい (心情・意欲・知識)	わいわい組 年間目標	らんらん組 年間目標	すいすい組 年間目標	幼児期の終わりまでに 育ってほしい10項目
	ア 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする <b>「知識及び技能の基礎」</b>	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を培う。	(1) 身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。 (2) 伸び伸びと体を動かしたり、はう、歩くなどの運動をしようとする。 (3) 食事、睡眠等の生活リズムの感覚が芽生える。	・心地よく、発達にあつた環境の中で、心身ともにのびのびと過ごしている。	<b>健康</b> 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。	(1) 明るくのびのびと生活し、様々な動きをしようとする。 (2) 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 (3) 健康、安全な生活に必要な習慣に気付く。自分で試してみようとする気持ちが育つ。	・自分の思いや気持ちをつぶりに表現しながら、それを十分に受け止めてもらって、自分の気持ちに気付いていく。	・集団の中で一人ひとりが大切にされることで、自分でやりたいという意欲が育ち、食事・排泄・清潔・衣類の着脱などの基本的な生活習慣が身に付く。	<b>健康</b> 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。	(1) 明るくのびのびと行動し、充実感を味わう。 (2) 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 (3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。	・わらす組の生活に慣れていながら、習慣や態度を身につけていく。 ・身の回りの環境(空間/物/人)と関わりながら、自分で気付いたり考えたりしてやってみようとする。	・友達と一緒に全身を使った遊びを楽しみ、運動する心地よさを十分に味わう。 ・自分の体を大切に、適切な休息や食事など、自分に必要な選択を身に付けて行く。	・自分の好きなことや得意なことを深め、自分に自信をつける。 ・健康や安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しを持って行動する。	ア 健康な心と体
※乳児は三つの視点、幼児は5つの領域で区分されている基本的な事項を十分に参照。	イ 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする <b>「思考力、判断力、表現力等の基礎」</b>	身近な人と気持ちが通じ合う 受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基礎を培う。	(1) 安心できる関係の中で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 (2) 体の動きや表情、非言語により、保育者等と気持ちを合わせようとする。 (3) 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。	・温かく応答的なかわりのもと、自分の気持ちを表現し、保育者や友だちなど身近な人と心が通いあう喜びを感じている。	<b>人間関係</b> 他の人々と親しみ、支え合つて生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。	(1) 保育所での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。 (2) 周囲の子とも育への興味や関心が高まり、関わりを持つようとする。 (3) 保育者の生活の仕方に関わり、まよりの大切さに気付く。	・友だちとの関わりの中で、少しずつ相手の気持ちにも目を向けて、やりとりしてみようとする。	・友達との関わりの中で他者とのふつかり合いも経験しつつ、言葉で伝え合いながら一緒に過ごすことが楽しくなってきたり味わう。	<b>人間関係</b> 他の人々と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。 (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	・さまざまな友だちと関わりながら、それぞれの関係性を結び、お互いの良さや協力し合う喜びを知っていく。	・友だちとの対話を重ねながら、相手の気持ちに気付いていく。	・友だちや異年齢での関わりの中で、思いやりの心を育て、協力しあう大切さを知る。 ・自分らの目標や友だちとの共通の目標を持つ中で、やり遂げる達成感や満足感を味わう。	イ 自立心 ウ 協同性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活との関わり	
	ウ 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする <b>「学びに向かう力、人間性等」</b>	身近な環境に興味や好奇心をもつて関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基礎を培う。	(1) 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。 (2) 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。 (3) 自分の諸感覚に認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。	・探索活動を通して、様々なものとの出会い、気付いたり試したり、繰り返し関わりながら、探究する面白さを味わう。	<b>言葉</b> 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉に聞こえたり、好きなこととする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。	(1) 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。 (2) 人の言葉や話などを聞き、自分で思ったことを伝えようとする。 (3) 絵本や物語等の親しみとともに、言葉ややり取りを通じて身近な人と気持ちを合わせようとする。	・一人ひとりが安心して園生活を送る中で自分の思いを言葉で伝えたり、好きなことを見つけてお友達との世界が広がっていく。	・一人ひとりに合った園生活を送る中で、身の回りしたことややってみたいことに意欲的に向き合つて、自分の世界を広げていく。	<b>言葉</b> 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉に聞こえたり、好きなこととする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。 (3) 日常生活に必要な言葉が分かるようになることと、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。	・さまざまなやりとりの中で言葉への感覚を豊かにし、心地よい言葉を選んで使ってみようとする。	・心地よい言葉のやり取りと出会い、伝え合う楽しさが十分に味わえる生活を作る。	・ミーティング等の話し合い(対話)を大切に、自分たちで生活をつくりあげようとする。 ・心地よい言葉を知り、美しい言葉を獲得しながら、身近な人と気持ちを合わせる。	カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、規範や文字などへの関心・感覚	
※要項上は乳児と満1歳に区分されているので、満1歳を過ぎた場合は1歳児の5領域を参照。 ※2歳児は、満3歳児の誕生日を迎える前は保育、それ以降は教育及び保育に位置づけられる。					<b>環境</b> 周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生きて取り入れていくこととする力を養う。	(1) 身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々な事象に興味や関心をもつ。 (2) 様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 (3) 見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。	・一人ひとりに合った環境の中で、身の回りしたことややってみたいことに意欲的に向き合つて、自分の世界を広げていく。	・心に湧き上がる「なぜ?」「どうして?」などの興味、関心をじっくりと探究し、遊びに取り入れていく。	<b>環境</b> 周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生きて取り入れていくこととする力を養う。 (3) 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	・様々な環境やその中で経験を通して、じぶんの好きなことを見つけ、じっくりと探究していく。	・様々な事象に興味・関心を持ち、友だちと気付きを共有したり、探究したりする。	・身の回りの自然や様々な事象に興味・関心を持ち、友だちと気付きを共有したり、探究したりする。	コ 豊かな感性と表現	
					<b>表現</b> 感じたことや考えたことと自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養う。	(1) 身体や諸感覚の経験を通じて、様々な感覚を味わう。 (2) 感じたことや考えたことと自分なりに表現しようとする。 (3) 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。	・身近な環境に触れた感覚や気づき、触れ合いや遊びなどで生じた気持ちを外に表す。	・感じたことや気づいたこと、考えたり試したことと生まれるイメージを十分に楽しむ。	<b>表現</b> 感じたことや考えたことと自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養う。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	・身近な自然や生き物、素材、食、音楽、身体的な活動など、さまざまな事象や活動との出会いを通して、イメージや感覚を豊かにする。	・自然、生き物、音楽、素材など十分に触れ合い、そこで生まれる質感などの感覚をじっくりと味わいながら、多様な表現を楽しみ、自分の世界を広げていく。			